

多言語・多文化化する社会(5)ジェンダーと多文化社会

藤岡美恵子(法政大学非常勤講師)

1. テーマ
ジェンダーを軸に考えるエスノセントリズム(自民族中心主義): マジョリティの思考を相対化する
2. 複合差別: ジェンダー差別と民族(人種)差別の交差
Q: あなたにとって(あなたの考える)ジェンダー差別は?
(ア) 外国人女性へのDV: 日本人女性との違い
在留資格
言葉・情報による格差
友人・家族など支援者が少ない/いない
夫(恋人)による民族(人種)差別
(イ) 自治体の施策の問題点: 外国人女性の特別な状況への考慮欠落
(ウ) 「外国人」とひとくくりにできない: 同一グループの中のジェンダー、階級、障害、セクシュアリティ etc.に基づく差別・階層 複合差別
例) 民族差別がジェンダー差別を強化する
(エ) 在日朝鮮人女性の相談ホットライン: 「在日のことを理解していない日本人に相談できない」
3. ジェンダー差別問題をめぐるエスノセントリズム
(ア) マイノリティの女性の存在を無視した「女性問題」「女性解放」「女性政策」: 「女性差別」「女性の問題」とは何か?
人種差別撤廃条約の政府報告書: ジェンダーの視点の欠落
女性差別撤廃条約定期報告書へのNGOカウンターレポート
(イ) 先住民族女性の主張: 民族解放、植民地主義、開発による立ち退き etc.は「女性の課題」ではない?なぜそう思うのか?
例) サーミ女性にとっての「仕事」、コルディリエラ的女性にとっての「処罰」
(ウ) 日本と異なる社会のジェンダー差別をどう捉えるか
Q: 一妻多夫制は女性差別?
4. まとめ: マジョリティを相対化する
マイノリティ問題=マジョリティ問題: 日本社会/日本人を問うこと
[手がかり]
・人種主義(racism) ・植民地主義

<参考文献>

- 移住女性とDV
移住労働者と連帯する全国ネットワーク『ドメスティック・バイオレンスと人身売買』現代人文社、2004年
複合差別
反差別国際運動日本委員会編『マイノリティ女性が世界を変える! マイノリティ女性に対する複合差別』反差別国際運動日本委員会(発行)、解放出版社(発売)、2001年
鄭暎恵「フェミニズムのなかのレイシズム」江原由美子・金井淑子編『ワードマップ フェミニズム』新曜社、1997年
先住民族
藤岡美恵子・中野憲志編『グローバル時代の先住民族 「先住民族の10年」とは何だったのか』法律文化社、2004年
上村英明『先住民族の「近代史」 植民地主義を超えるために』平凡社、2001年
人種主義
アルベール・メンミ/菊地昌実・白井成雄訳『人種差別』法政大学出版局、1996年